

「佐々木恵未メモリアル作品展」のオープニング式典に、多数の皆様にご参加いただきありがとうございます。

また、この作品展の開催にあたり、ご支援を賜りました本藤久朋様、今井美術館、山陰中央新報、山陰合同銀行を始め、関係者の皆様に、心からお礼を申し上げます。

佐々木恵未さんは、地元の江津市を拠点に、童画を始めとした様々な作品を発表され、県の子育て支援事業においても、「こっころパスポート」や「こっころカンパニー」など数多くのポスターやパンフレットに、作品を提供いただきました。

「ことのは大賞」では、入賞作品一つ一つに佐々木さんから絵をつけていただき、言葉と絵が一体となったすばらしい作品となりました。山陰中央新報にも掲載され、多くの方から好評を得たところです。

佐々木さんの作品は、カラフルな色使いや柔らかいタッチで、やさしさにあふれています。県が進めている子育て支援のイメージにぴったりで、県施策のPRに大きな貢献をいただきました。

また、佐々木さんは、童画の他にも、地元の民話を題材とした絵本の出版や企業や行政のポスターを作成されるなど、島根の文化や地域の振興にも大きな貢献をされました。

このように、大変大きな功績を残された佐々木さんが、59歳の若さで、お亡くなりになりましたことは、私ども島根県、そして県民にとりましても、大きな損失であり、大変残念なことであります。

こうした中、ご逝去からちょうど1年となるこの機会に、佐々木さんを偲び、その功績を讃えるため、メモリアル作品展を開催することとしました。

ぜひ多くの方々にご覧いただき、佐々木さんの作品のテーマである「家族」や「子育て」、「ふるさと」の温かさ、やさしさに触れられることを祈念し、ご挨拶といたします。